

科目番号：AE13A92

科 目 名：日本語の語用論演習

担当教員：小野 正樹

成績評価方法：①経過課題の提出状況 20%、②レポート 80%

成績評価基準：

	A+ (90 点以上)	A (80～89 点)	B (70～79 点)	C (60～69 点)	D (60 点未満)
① 経過課題の 提出状況 (20%)	すべての課題を期限内に提出することができ、課題の達成状況も優れている。	すべての課題を期限内に提出することができ、課題も十分に達成されている。	すべての課題を期限内に提出することができ、課題も達成されている。	一部の課題を期限内に提出できていない、または課題の達成度が不十分である。	すべての課題が期限内に提出されていない、または提出されていない課題がある。
② レポート 1) データの処理 (30%)	日本語語用論のデータ化ができ、的確な分析を加えることができる。	日本語語用論のデータ化ができ、詳細な分析を加えることができる。	日本語語用論のデータ化ができ、分析を加えることができる。	日本語語用論のデータ化ができている。	日本語語用論のデータ化が不十分である。
② レポート 2) 先行研究の 整理と考察 (30%)	先行研究の知見が整理でき、自身の分析と併せて発展的にかつ論理的に考察できている。	先行研究の知見が整理でき、自身の分析と併せて発展的に考察できている。	先行研究の知見が整理でき、自身の分析と併せて考察できている。	先行研究の知見が整理できている。	先行研究の知見の整理が不十分である。
③ レポート 3) 考察結果の 意義づけ (20%)	考察の結果に対して、日本語語用論研究の動向を踏まえた独創的な意義づけができている。	考察の結果に対して、日本語語用論研究の動向を踏まえた意義づけができている。	考察の結果に対して、研究上の意義づけができている。	考察の結果に対して意義づけができている。	考察の結果に対する意義づけが不十分である。